

海賊討伐ノ件

1359

供

司

人事局

軍令部

馬
左

旅順機密第二七〇號

大正四年九月廿二日

旅順要港司令官川島今次郎

海軍大臣加藤友三郎殿

第五艇隊行動ニ関スル件

大正四年九月十八日(土曜)至前時廿分老鑛山燈台ヨリ

左通報ニ接ス

昨夜陸城島ヨリ約里ニ於テ五名乗組日本漁船破海中

同島ヨリ汽船現ニ漢船向ヒ如ク砲撃火セシニ

直ニ實彈ヲ撃火セシ爲漢夫一名重傷其員七燈台迄

ハテ来リ上ル其儘同島附近ニ影ヲ隠セリ漢船

今燈台ヨリ迎テ汽船ヲ民政署ニ御依頼中

時ニ民政署救助爲相宜汽船派遣ヲ請願シ来リテ以テ

一
電

後
九月廿二日
十月一日
大臣加藤
軍令部接

不取敢汽艇若鉄山派遣ニ重傷澳大ニ應急手当ヲスト
共ニ該澳艇ヲ曳キテ救港セシメタリ

同時第十五艇隊ニ急出港準備ヲサシメテ訓令ヲ柳原
第十五艇隊司令ニ與ヘタリ

柳原第十五艇隊司令ニ訓令

大正四年九月十八日
午前十時

一、前若鉄燈台ヨリ通報ニ依リ、夜櫻城島ヲ距ル約里処

於テ五隻乗自澳舟碇泊中同ヨリ噸位汽艇現レ始テ砲

ヲ撃テ先直ニ實彈ヲ撃射セシメ澳夫一名重傷ヲ負ヒ燈台

迄逃ケ来リ汽艇ニ其儘同島附近ニ影ヲ隠セリト

ニ其隊ニ急速隄城島附近ニ出動上右事實ノ真

相ヲ調査シ救港スヘシ

艇隊出港之際ニ都督府ト協議シ司令ニ顧問トシテ友邦語ヲ能
スル都督府外事科屬三浦義臣ヲ乗艇セシメタリ

正午第十五艇隊出港途老鉄山燈台に被港シツル被害
漢船ト會シ参考人トシテ船頭名ヲ伴ヒテ艇隊、隍城島
方面に向ヘリ

午後三時被害漢船、我汽艇ニ成カレテ旅順駛着重傷漢
夫、直ニ都督醫院ニ收容セリ

被害漢船漢夫、言ヲ綜合スルニ状況左ノ如シ

該漢船ハ六人乗ニシテ十八日午前旅順ヲ出港シ隍城
島方面ニ出漢シタルモ、ニシテ午後八時頃大嶺島ト小嶺
島ト中間ヲ漢夫、島名ヲ知ラス北ヲ三番目島ト四
番目島トノ間ト稱スルヲ以テ大嶺島ノ北方ト推察セラル
東ヲ西方ニ向ヒ帆走中一本檣一烟突、汽船大嶺島
ノ東岸ヨリ来リテ小銃空包、射撃手ヲ及ケタルヲ
以テ全帆ヲ下シタルニ近キ来リ釣ニ百米位ノ所ニ

来々實放千餘發ヲ發射シテ此彈丸ニテ
 澳夫一名背部ヲ右肩下方ヲ打テテ重傷ヲ
 負ヘリ汽船横付シ小一時間許傍ニ在リテ何ヲ
 カ喧噪ニ進上ト云フ言葉ヲ聞キシモ一船頭ハ
 僅ニプロパン一点張リニテ應答セルノミ事友那語ヲ
 解スルモノナキノミナラス射撃ニ恐怖シ皆船底ニ入
 リ息ヲ殺シ居タル程ナレハ其船名ナトヲ見ルノ餘
 裕ナク時々頭ヲ起シテハ汽船ノ首尾ニ小銃數挺
 ヲ擬シ居ルヲ見テ益々恐怖ヲ増加シ戰慄シ居リ
 シト云~~ル~~内高レ去リシヲ以テ急遽帆ヲ場ケ老鉄
 山燈台ニ向ケ逃ケ飯レリト
 此時半月ハ中天ニ在リシモ少シク濛氣アリ又浪高
 クシテ動搖甚シカリシト云フ

此日大欽島、西方距岸五哩位、処ニ我漢船出候
モノアリシト云フ

十八日午後十時廿分、鷓一隻、^{取順}既踏^{不談}艇長報告、概
要左如シ

菊野鷓艇長口頭報告大要

一九月十八日正午出港北隴城島、北ニ於テ解列各艇
予定如シ行動ニ廟島列島ヲ搜索シ、南トス
鷓列島、東ヲ航ス漢船乗員ニ言ハ依ル前夜祭
鏡セシ能ハ一掃一烟突知塔事第汽艇、約一
倍半位ニシテ速カ大ナラス約八哩ニシテ發鏡後隴
城島ニ方ニ進航セリト

一六欽島附近ニ煤烟ヲ認メタルヲ以テ之ニ近接セシニ
友那民國之旗ヲ掲ケタリ而シテ前述漢船乗

五
五

會意符合ル一汽船ニテ上甲板ニ小銃携帶
 者アリ且其傍ニ「ジャング」ニ隻アリテ之ニ亦小銃
 ヲ携帶セル者兼組ナリ此時司令艦大鯨島ノ
 西側ヨリ其南端ニ現レタルヲ以テ之ニ報告シ
 相共ニ該汽船ノ処ニ来レリ程ナリ他ニ隻モ来會
 ス斯クテ前汽船及「ジャング」ニ隻ヲ臨檢シ大鯨島
 南東灣ニ行カシメ其處ニ錨泊セシム各艦モ同處
 ニ錨泊ス臨檢際汽船及「ジャング」ハ其果官憲
 巡回船ナリト云ヘリ
 三司令艦ヲ陸戰隊用意ニ信号命令アリ次ニ大鯨
 島ニ至リ七名海賊アリテ信号アリ午後四時半
 頃各艦ヨリ十名宛出セシ陸戰隊員ニ司令艦ニ集
 合田鎮海軍中尉指揮ノ下ニ陸海賊搜索スル

四其時山上之友那人海賊アリトテ各艇之砲撃
 シ次テ第一小隊之島周圍ヲ廻リ第二小隊之前位
 置附近ニ在リテ陸戰隊援護ニ任セ充ツ
 五午後六時半頃陸上ヨリ端舟送レトテ信号アリシ故
 端舟ヲ送ル此頃陸上ニ銃聲ヲ聞ク程ナリ賊一名捕
 エ来ル小銃ヲ携テ帯シ實彈ヲ裝填シ黍穀ノ
 下ニ伏シ居テ捕ヘテト程ナリ又ニ艇取来シ賊
 ヲ司令艇ニ送ル次テ大岩根等兵曹膝側ニ銃彈
 ヲ受ケ負傷セリトテ鶉ニ送リ来ル
 六小宮鶉ニ賊一名ヲ乗セ直ニ旅順ニ取港ス標命
 ヲ受ケ程ナリ陸戰隊自海岸ニ引揚ケタル以テ
 鶉兵自全部收容取途ニ就ク此時迄ハ別ニ我々
 死傷ナキ様ナリニ陸戰隊自全部揃ハサリシ故

詳細ノ下ハ不明

七先ニ察見セシ汽船ハ明朝船長同意ヲ得テ旅

順回航セシハ採取計ヲ下ニ致シ云 船長ハ司

全船ヲ扣留シテ未タ確メサルニ前夜突飛銃セシ

船ハ此汽船ナリト認ム

八午時時ニ分入港大岩根等兵費ハ直ニ代田

ノ担架ヲ借用シ入庫セシメ置ケリ負傷ハ皆捕銃

傷ニシテ重態ト認ム

九大敵馬陸戦隊ヲ揚ケ先ハ友邦船ヲ依頼度

ケルヤ又如何ナルコトニヨリ取計ハ先ヤ其船ハ

豫知セズ前ノ汽船カ友邦船憲ハ面敬言遣

船ナリト是ハ陸兵海賊アルコトヲ知レルモ捕縛シ得ハ

サリシモノカト思ハル

左腹部ニ貫通銃創ヲ負ヘテ曹大岩根床ニ直ニ病室ニ收容シ
手術ヲ施シ自方治療ヲ講ゼシモ必死ニシテ遂ニ翌十九日午
前六時五分遺憾ナカラ死セリ

翌十九日(日曜)午前十時廿五分第十五艇隊(鷗丸)旅順ニ返
港昨夜逮捕セル海賊ニ名及同行ヲ承諾セル登州丸船長ヲ
載セ来レリ

柳原第十五艇隊司令ヲ報告ヲ聴取シ取敢ハス電報報告
(別紙第二)ヲ送スルト共ニ松本芝罘領事(電文、別紙第二)
及吉田北京公使館附其官(電文、別紙第三)ニ宛テ本事
件ヲ顯末ヲ電報セリ

返港後柳原司令ヲ提呈セル任務報告(概報)ハ別紙第四ノ通
任務報告(詳報)ハ別紙第五ノ通

五
三

又中村閣東都督ヨリ其果領事案セシ電報別紙第六外務大臣宛ル電報ハ別紙第七ノ通為御參考茲添付ス

(意見) 柳ノ廟島列島我東州ニ近キ好漁場ニテ近時東州漁業大發展好況ニ伴ヒ多數我漁船該列島附近出漁シ居ル現状ニ於テ先キ黃渤漁業會社於テ收得漁權アリト尚ホ一般帝國漁業者於テ自由安全ニ漁獵ニ從フ利權ヲ馴致的ニ收得スルカ或ハ一機會ヲ利シ明確ニ此利權ヲ獲得セム下ニ我國家ノ為緊要ナル事項ナリト認ム現時漁業ノ實況更ニ調査上ノ日報告スヘシ

右報告ス

終

別紙第一

大正四年九月十九日午後七時五分

司令官ヨリ海軍大臣へ電報

昨日漁船遭難真相調査ノ爲隍城島方面ニ出
動セシメタル第十五艇隊ハ大欽島ニ於テ海賊取
締ノ爲芝罘ヨリ來レル民國汽船登州号ヲ發
見シ其船型一昨夜ノ加害船ニ類似セルヲ以テ
之ヲ質セルニ我漁船ヲ射撃セシコトハ自白セサル
モ海賊ノ一群大欽島方面ニ現ハレシヲ以テ一昨夜
其附近海面ニ於テゲヤシク數隻ヲ射撃セルコト
ヲ申立テタリ四圍ノ狀況ヨリ考察スルニ我遭難漁
船ハ全船ニ誤射セラレシモノト認メラル昨夕約四十名
ヨリ成ル海賊ハ大欽島ニ上陸シ登州号並ニ隻ノゲヤ

毎
頁

シクニ乗組ノル少数ノ支那警官ニテハ微力如何トモ
スル能ハス我艦隊ニ助力ヲ懇情シ來ルヲ以テ司令
ハ此種海賊ハ或ハ廟島列島ニ或ハ我関東州沿岸
ニ出没シ良民ヲ苦シノ横暴ヲ極ムルト又支那ノ現
状並善隣ノ厚誼上ヨリシテ支那警官ニ應援シ
彼等ヲ逮捕スルハ人道上當ニ然ルヘキ處ト判断シ
兵員四十名ヲ大欽島ニ上陸セシメ支那警官ト共ニ
海賊ノ討伐ニ從フ此際一等兵曹一名賊ノ銃丸ニ當
リ重傷ヲ負ヒタリ海賊ハ二名斃レタルガ如シ日没
頃海賊ハ四散逃走セルヲ以テ其三名ヲ捕ヘ我兵員
ハ飯艇セリ又海賊ノ一部ハ大欽島ヨリ小欽島ニ逃
レタルヲ以テ鷓雲雀ハ之ヲ追跡セルニ海賊ハ小欽島
西岸ニ拠リテ小銃ヲ猛射セルヲ以テ遠巨離ヨリ

海軍

暫ク威嚇射撃ヲナシ引揚ゲタリ 鷄ハ昨夜半重
傷下士及海賊一名ヲ乗セテ飯港重傷者ハ直ニ入
室手當ヲ行ヒシモ今朝遺憾ナラ死亡セリ他三
隻ハ登州号船長及昨夕捕ヘタル海賊二名ヲ乗
セ今朝旅順ニ飯港セリ登州号ノ支那警官ハ今日
尚大欽島ニ於テ海賊ト衝突シツ、アリ
船長及捕ヘタル海賊ハ當民政部ニ引渡シ同部ニ
於テ取調後船長ハ飯シ海賊ハ芝罘領事ニ引
渡ス答不取敢
右報告ス

(終)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

洋
宣

供濟

軍務局

新督府發
奉有者
大正四年九月三日
三三〇
大田官房受

大隈外務大臣

中村都督

秘第八七號

芝罘領事、左、通電報

十七日、夜日本漁船廟島列島沖合に於
て支那巡邏艇にキモノ為に射撃セラ
レ乗組、漁夫一名重傷セル報告に據り取
調、夕ノ十八日海軍ヨリ水雷艇四隻ヲ
派遣シ夕八時大欽島、烟台水警廳ノ

汽船登州^{トウシユウ}及兵士ヲ載セタル民船二隻假
泊シ居ルヲ察見シ問究シタル所同島。海賊四
十餘名逃セシ居ルヲ以テ討伐ニ從事中
ナルヲ以テ援助ヲ得テ肯懇請セルニヨリ水
雷艇隊ハ其ノ請リ容レ彼等ヲ援助シ陸戦隊
ヲ上陸セシメ少時交戦、後賊四名ヲ逮捕セリ
其ノ際一等下士一名重傷リ員ニ後死セリ
水雷艇隊ハ参秀、夕ノ支那汽船登州^{トウシユウ}及
船長ヲ擄順ニ同行シ永ノ質問、結果十七
日、夜ハ警戒ノ夕ノ同島、周圍ヲ徹夜巡

羅シタルカ其ノ際本邦漁船ト知ラスコトヲ察
シタルモノノ如シ

倭テ三名ノ海賊ハ貴館ニ護送スヘキニ付キ
貴官ヨリ支那側ニ引渡アリタリ同時ニ
右船長ヲモ同行セシム

支那側ニシテ死亡下士ニ對シテハ申慰令ヲ
又負傷漁夫ニ付テハ慰藉令ヲ并ニ犯人護
送費用ヲ出シタル様希望ス

海賊護送ノ日取ハ決定次第電報ス

委細郵報

1376

極秘

大隈外務大臣

松本領事代理

芝罘發 大正四年九月二十日後 八五〇、
本有看

第四二号

九月十九日夜半在旅順川島司令官ヨリ本官
宛ノ電報要領左ノ如シ

旅順ヨリ出タル我漁船九月十七日午後八時頃
大欽島附近、於テ支那汽船ヨリ射撃ヲセ
ラル船頭一名負傷セル報出アリタル、付有
相取調ノ為九月十八日正午第十五艇隊ヲ
廟島列島方面、出動セシメテ大欽島、

九月十八日
大臣官房受

1377

於ノ海賊取締ノ為是累ヨリ東レシ汽船登
州号ヲ發見シ之ヲ偵シタル、九月十七日海賊
船數艘ノ射撃セムトシ甲立タル、舟被遭
難澳船ハ登州号、誤射セラルシタルヲト認
ムル、登州号東組警務官、タル人、彼方如
何トモシ難ク依リ我艦隊、助力ヲ懇請セ
ル處司令人此鏡ノ海賊ハ廟島列島又ハ同
東州沿岸、出没シ良民ヲ苦メ横暴ヲ極
ムルト又支那ノ現狀並其隣ノ好誼上ヨリ
支那警官ヲ應接スル人、道ニ南、然ル、

千所卜到新乙兵員四十餘大島、上陸セシ
海賊討伐、後、一、等兵曾一、受、傷、ノ、後
、海賊二名、倒、ス、日、没、海賊四、散、セ、ル、以、テ
三名、ヲ、捕、メ、兵、員、八、名、能、ク、セ、リ、兵、隊、四
隻、一、冬、州、方、船、長、及、海賊三名、ヲ、乗、セ、九、月
十九、日、朝、族、順、、敵、港、取、調、、上、船、長、ハ、還、
、海賊八、名、在、芝、果、樹、事、立、這、ハ、等、電、傷、者、ハ
今朝、下、遺、憾、死、セ、リ、名、不、示、故、電、報、ハ
在、支、分、使、ハ、轉、電、セ、リ

別紙第二

司令官より芝罘領事宛電報(九月九日午後七時五分發電)

一昨日故順ヲ出テ先我漢船午後八時頃大欽島附近ニ至ルヤ二百噸許ノ支那汽船ヨリ突然ニ千餘發小銃ノ射撃ヲ蒙リ船頭一名胸部ニ重傷ヲ受ケテ被害船ハ昨朝光鉄山燈臺迄逃ケ歸リシ報告アリシヲ以テ遭難ノ真相取調ノ爲昨日正午第十五艇隊ヲ廟島列島方面ニ出動セシメタリ艇隊ハ大欽島ニ於テ海賊取締ノ爲芝罘ヨリ來ル民國汽船登州号ヲ発見シ其船型一昨夜加害船ニ類似セルヲ以テ之ヲ質セルニ我漢船ヲ射撃セシメ下ハ自白サルモ海賊ノ群大欽島方面ニ現ハレシヲ以テ一昨夜其ノ附近海面ニ於テジャシク數隻ヲ射撃セルヲ申立タリ四圍狀況ヲ考察スルニ我遭難漢船ハ全船ニ誤射セシモト認メラル

昨夕約四十名ヨリ成ル海賊ハ大欽島ニ上陸シ登州号並ニ莫シヤシ

ノ乗組メル少数ナル支那警官ニテ、微力如何トモスル能ハス我艦隊ニ
 助力ヲ懇請シ来ルヲ以テ司令此種海賊或ハ廟島列島或ハ我
 炭東州沿岸ニ出沒シ良民ヲ苦シシ極暴ヲ極ムルト又支那ノ現状並
 善隣ノ厚誼上ヨリシテ支那警官ニ應接シ彼等ヲ逮捕スルハ人道
 上當ニ然ルヘキ處ト判断シ兵員四十名ヲ大欽島ニ上陸セシメ支那
 警官ト共ニ海賊ノ討伐ニ從フ此際一等兵曹一名餘ノ銃丸ニ
 當リ重傷ヲ負ヒタリ海賊ハ二名斃レルカ如シ日没頃海賊ハ四散逃
 走セルヲ以テ其三名ヲ捕ヘ我兵員ハ歸航セリ又海賊ノ一部ハ大欽島
 ヲリ小欽島逃レルヲ以テ鶴ヶ島ニ之ヲ追跡セルニ海賊ハ小欽島西
 岸ニ拠リテ小銃ヲ猛射セルヲ以テ遠巨砲ヲリ暫ク威嚇射撃シテ之ヲ引
 揚ケタリ鶴ヶ島昨夜半重傷下士及海賊一名ヲ棄テ歸港重傷者直
 々入室半當ヲ行ヒシモ今朝遺憾ナラ死セリ他ノ三隻ハ登州号
 船長及昨夕捕ヘタル海賊二名ヲ棄テ今朝旅順ニ歸港セリ登州号

支那警備官今自青大嶽島ニ於テ海賊ト衝突シツアリ
船長及捕ヘタル海賊ハ屬民政部引渡シ同部ニ於テ取調ノ後船
長ハ歸シ海賊ハ貴官迄送ル筈

別紙第三

司令官ヨリ北京吉岡佐宛電報 (九月廿五時千餘電)

一昨日旅順ヲ出テタル我漢船午後八時頃大欽島附近ニ至ルヤ二百噸計
支那汽船ヨリ突然二千餘發小銃ノ射撃ヲ蒙リ船頭一名ハ胸部ニ
重傷ヲ受ケタリ被害船ハ昨朝老鉄山燈臺迄逃ケ歸リシ報告アリ
シヲ以テ遭難ノ真相取調ノ爲昨昨日正午第十五艦隊ヲ廟島列島
方面ニ出動セシメタリ艦隊ハ大欽島ニ於テ海賊取締ノ爲芝罘ヨリ
来ル民團汽船登州号ヲ發見シ其船型一昨夜加害船ニ類似セル
ヲ以テ之ヲ質スルニ我漢船ヲ射撃セシメトハ自白セサルモ海賊ノ群大
欽島方面ニ現ハレシヲ以テ昨夜其附近海面ニ於テシヤニシ數隻ヲ
射撃セルコトヲ申立テタリ四圍ノ状況ヨリ考察スルニ我遭難漢船ハ
今船ニ誤射セラレシモノト認メラル

昨夕約千名ヨリ成ル海賊大欽島ニ上陸シ登州号並ニ隻ノシヤニ

五
五

ノニ乗組ムル少数ナル支那警官ニテ、微力如何トモスル能ハス我艦隊
 一助カヲ懇請シ来レルヲ以テ司令、此種海賊或ハ廟島列島或ハ我
 関東州沿岸ニ出没シ良民ヲ苦シ横暴ヲ極ムルト又支那ノ現状ニ並
 善隣ノ厚誼上ヨリシテ支那警官ニ援助シ彼等ヲ逮捕スルハ人道
 上當ニ然ルヘキ處ト判断シ兵員四十名ヲ大欽島ニ陸セシメ支那警
 官ト共ニ海賊ノ討伐ニ從フ此際一等兵曹一名賊ノ銃丸ニ當リ重傷
 フ負ヒタリ海賊ニ名斃シタルカ如シ日没頃海賊ハ四散逃走セルヲ以テ
 其三名ヲ捕ヘ我兵員ハ歸艦セリ又海賊ノ一部大欽島ヨリ小欽島ニ
 逃レタルヲ以テ鷓鷹雀ハ之ヲ追跡セルニ海賊ハ小欽島西岸振リテ小銃
 フ猛射セルヲ以テ遠巨砲ヲ撃シ威嚇射撃ヲシ引揚ケタリ鷓鷹昨夜
 半重傷下士及海賊一名ヲ乗セテ歸港重傷者ハ道々ニ入室午當ヲ行
 ヒシモ今朝遺憾下ラ死亡セリ他ニ隻ハ登州号船長及昨夕捕ヘタ
 ル海賊二名ヲ乗セ今朝旅順ニ歸港セリ登州号支那警官ハ今日

尚大欽島ニ於テ海賊ト衝突シツアリ
 船長及海賊ハ當民政部ニ引渡シ向部ニ於テ取調ノ後船長ハ
 歸シ海賊ハ芝罘領事ニ引渡ス筈公使代理ニモ然ルヘク貴官ヨ
 リ御傳アリタシ

別紙第四

大正四年九月十九日於旅順

第十五號隊員令 柳原 継雄

旅順要港部司令官 信川 篤次郎 殿

任務報告

大正四年九月十七日夜南隍城島南方一湮沖合
 三破泊セル帝國漁船ニ乗銃漁夫ニ銃傷ヲ加
 ヘタル一汽船アルニシキ調査スルニ依リ十八日
 正午出港午後四時隍城列島ニ達シ附近海面
 ヲ搜索ス大欽島南方ニ汽船アリ参考人々
 ル漁夫(加害セル漁夫二人)ハ昨夜加害船々
 ルヲ確認セルヲ以テ之ヲ暗検ス船長言依レ

毎 日

海賊三十七名大欽島沿岸ニアリテ對抗中
 ナリシカ水雷艇來着セルヲ見テ陸上ニ逃走
 セリ直ニ援助遠捕セラレタリト嘆願セルヲ
 陸岸接迎セシニ海賊一群ハ銃砲ヲシテ我
 レニ抵抗シタリ依テ空砲ヲ發シ之ヲ威脅シ
 更ニ遠捕隊ヲ編制シ午後五時揚陸遠捕
 ニ從事ス
 海賊高梁畑ニ逃走四散シ遠捕隊ニ極力
 搜索ニ努メタルカ岩間ニ潛伏セル賊一群ハ
 不意ニ銃砲ヲ狙撃シテ警備曹大岩根宗一
 ニ重傷ヲ負ハシメタリ遠捕隊之ニ應シ對
 抗約一時間ニ及ヒタルカ賊ハ日没ニ及ヒ漸次逃
 走シタリ

此對抗中民家及岩間、潜伏せん海賊三名ヲ
 速捕シ午後七時隊ヲ纏ナケル敵艦ス
 速捕隊揚陸中不敵隊、同島周圍ニテ
 逃走、備ハタルニ午後五時半一土民、通知シヨ
 リ海賊一群民船ニ乗シ小欽島ニ逃走ス
 ルヲ認メ之ヲ速捕セントセリ
 賊ハ急遽民船ヲ陸岸ニ乗リ上ケ我レニ銃祭
 シシ逃走セリ、鶴ノ之ニ對シ砲祭威脅セシカ
 此時敵言察船登州未着セシ依リ之ニ讓リ
 大欽島南方錨地到リ陸戰隊ヲ收容候
 泊ス
 前夜漢舟如舊ニ圍ヒテ登州船長、未艇ヲ使シ
 審問セシニ銃祭セシ事、實ヲ聽取シタルヲ以テ

毎
 日

<p>九日午前七時証人トシテ旅順ニ同行ス来ノ午前十</p>	<p>時半故塔司人及梅賊三名因東都督府民</p>	<p>政部ニ審問ヲ依托シ目下審問ヲ續行中</p>	<p>本件ニ関シテ詳細後報ス</p>	<p>一汽艇登州船長及警補氏名</p>	<p>船長 山東沿海水警第三艦隊副官張峯</p>	<p>警補 山東水警警察廳偵探隊長 吳得勝</p>	<p>二逮捕海賊 姓名不詳 三名</p>	<p>三押収品</p>	<p>小銃 一挺</p>	<p>小銃 約百五十発</p>	<p>擲爆彈 三個</p>	<p>道牙火藥 數條</p>
-------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------	---------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------	-------------	--------------	-----------------	---------------	----------------

右報告ス

破服其他雜品若干

海軍

終

1390

第五艦隊第二三三號白

大正四年九月二十一日 於旅順

第十五艦隊司令柳原維雄

第十五艦隊司令印

海軍省司令部官川島令次郎殿

任務詳報

九月十八日午前九時三十分旅順要港司令部官多左、訓令ヲ受領アリ

柳原第五艦隊司令訓令

- 一、今朝老鉄燈台ノ通報ニ至リ人昨夜隍城島ヲ距ル約一里ノ処ニ於テ五
名乗ノ日本漁舟碇泊中同島ヲ千噸位ノ汽船現心始メ空砲ヲ發
シ名直ニ實彈ヲ發射セシ為メ漁夫一名重傷ヲ負ヒ燈台近逃ケ
來リ汽船ハ其後同島附近ニ影ヲ隱セリト
- 二、其隊ハ為連隍城島附近ニ出動シ上右事實ノ真相ヲ調査シ

海軍

収港スル

訓令基キ至急点火ヲ命ジ出勤諸準備ヲ整メ司令艇各艇ヲ招致

ニ次ノ口連命令ヲ與フ

一、北隍城島附近ニ於テ解列シ信標ト凡中ノ司令艇鴨南北隍城

島及大小欽島四島岫西方ヲ航シニ番艇雲雀南北隍城島ノ

間ヲ横キリ三番艇鷲ハ大小欽島ノ間ヲ横キリ四番艇鶴ハ諸島岫ノ

東方ヲ南ニ航シ午後四時ノ集合地点ヲ大欽島東方ニ選ト予

定ス

二、日暮没迄ニ何等ノ手摺キ中ハ鷲ハ報告ヲ爲メ單獨旅順帰港

ニ要港部夏官ノ特令ヲ受テ明朝再ビ旅順ヲ出港シ漸島列島

小黒山島附近ニ於テ本隊ニ合ス

正午旅順出港老鉄山東南南附近ニ於テ昨夜被害漢船ニ逢セカ

故ニ加害船ノ船型等ヲ聴取シ搜索ニ有利ナラ信シ同船ヲ漢夫小方仙

助ヲ司令艦ニ收容シ北隍城島ノ北方三哩ノ地点ニ向針ス

該澳夫ニ就キ加害船ノ船型ヲ尋ヒ一槓一煙突ニテ全長約水雷艇ノ
ナリト答辭ヲ推定スニ噸位ノ汽船ニテ噸位約三百噸内外ノモノ
ナリト想像セラル

午後一時五分北隍城島北角北四十度東二哩ニ於テ解列ノ信聲
ヲテ各艦豫定ノ行動ニ移ル

午後三時十分大欽島南角東方ニ小汽船及支那帆船數隻ヲ認メ
司令艦鷗ノ大欽島南方ヲ迂回シ該汽船ニ向テ南緯ノ各艦モ亦斯
時北方ヲ南艦ニ乘リテ午後三時五分該汽船附近ニ集ル是ニ於
テ鷗ノ組中尉大塚敏雄ニ通譯ヲ附シ該汽船ニ赴カシ一方ニ番
艇以下ヲ多ク附近ノ帆船ヲ調査セシム

大塚中尉報告ニ據リ該船ハ山東沿海水警第三砲艦登州ニ
テ山東水上警察廳偵探隊長吳得勝以下十餘名ノ偵探隊

第組海賊逮捕、爲十五日其果、出發、昨夜、數隻、怪、
々、帆船、向、鏡、渡、セ、モ、日本、海、船、會、シ、先、下、リ、勿、論、日、本、海、船、対、シ、
鏡、渡、セ、シ、コ、ト、ナ、シ、ト、シ、テ、

於是、昨夜、日本、海、船、ヲ、射、撃、セ、シ、加、害、船、ハ、略、登、州、出、シ、ト、推、定、ラ、レ、タ、
モ、確、見、証、憑、ヲ、獲、テ、カ、爲、夫、如、何、古、処、事、置、テ、採、ル、事、カ、就、キ、小、官、未、
カ、意、ヲ、決、セ、サ、リ、シ、カ、大、塚、中、尉、ト、相、前、後、多、登、州、船、長、賈、第、峯、及、シ、
吳、得、勝、ハ、登、州、ノ、傳、馬、ヲ、同、令、艦、乗、リ、昨、夜、乘、汽、船、登、州、ノ、海、賊、
ヲ、追、攝、シ、今、マ、對、抗、中、ナ、リ、方、艦、隊、乗、取、ル、見、テ、彼、ノ、海、岸、(大、欽、
島、六、六、八、山、北、方、海、岸)ニ、船、ヲ、乗、セ、上、ケ、遁、走、セ、カ、故、ニ、出、來、得、テ、速、捕、
援、助、ス、レ、ン、テ、テ、請、ヘ、リ、

情況、前述、ノ、如、何、等、カ、ノ、確、証、ヲ、舉、ル、テ、海、賊、カ、何、レ、ノ、方、面、ヨ、リ、
來、ル、ル、兒、ニ、角、協、力、速、捕、ス、ル、必、要、ヲ、感、ス、ト、由、リ、偵、探、隊、長、懇、
請、ヲ、答、ル、ル、決、心、ス、又、他、三、艦、ヲ、調、査、完、報、告、ス、ル、孰、モ、教、授、ノ、

小鏡ヲ滿、吳偵探長ノ指揮ヲ承ケ海賊逮捕ニ從事セルヲ云
 是ニ於テ午後四時五十分各艘船大欽島東南海岸ニ投錨シ各艘
 リ十名宛ノ下士卒ヲ出し隊附海軍中尉田鎖恭一郎ヲ少少指
 揮セテ支那偵探隊ノ數名ヲ苦ニ逮捕ニ向シム
 逮捕爲メ出發セル各艦艇未ダ陸岸ニ到着セザルニ先ケ陸上土
 民海賊一部隊ニ北方海岸ヨリ遁走セトスルヲ報シ来レルカ故ニ
 第一隊ヲ鷺ノ鷗ヲ其後殘留シ上陸部隊ト連絡ヲ保持セテ小
 隊ハ鷗ノ鷗及汽船登州ヲ率キ投錨シ大欽島東方ヲ迂回シ大
 欽水道ニ向テ棧帆ヲ並用シ極力追走セトスル一帆船ヲ認メ追
 攝シ然ルニ賊船其到底遁走シ不可能ナルヲ認メ小鏡ヲ乱發シ
 小欽島西北角ニ船ヲ集メ上ケ山上ニ逸走セトス是ニ於テ賊彈ノ危
 險ヲ避ケ距離ヲ威嚇砲撃ヲ行ヒ汽船登州勢ニ集シ全海
 岸ニ近ク投錨シ其乗員數名賊ト銃火ヲ交ヘテ上陸ヲ追走セシ

賊數五六名あり

午後五時早分小飲島逃走、海賊ヲ汽船登州ニ一仕シ目没前
上陸部隊ヲ収容シ今後、処置ヲ決メセカ爲、鴨居在ラ率ト
第一小隊ニ命令爲、大飲島ニ向ラ午後六時早分第一小隊ト合シ
上陸部隊ノ収容ニ着手又

前記第一小隊ノ行動中汽船登州船長賈第峯ハ常ニ負傷ニ
業艦ニ登州ノ操縦ハ次席運轉士ニ委シ居シリ

是ヲ先キ田中中尉カ率ニ上陸部隊ハ土人ノ言ニ依リ海賊ハ
分シテハ南方天六八山ニ他、北方五天ニ山ニ向ヘリト聞キ隊ヲ二隊ニ分ケ
捜索中北方ニ向ヘル一隊、方向ニ散漫ノ銃聲ヲ聞キカ故ニ直ニ
該方面ニ集合セカ、此時既ニ鷄巣組一等若曹大岩根宗一腹
部ニ銃丸ヲ受ケ負傷セリ是ニ於テ負傷者ニ鷹倉年富ヲ加テ
帰艦セシノ協力ヲ多鷹射レ賊ニ三名ヲ斃シタルモ賊ハ丘陵鞍部ニ

リ我隊前進退却共ニ不利ニ隔リ方漸ク賊ヲ擊攘シ賊三名ヲ
逮捕ス是ニ於テ隊員ヲ集メ各所屬艦ニ歸還ス時ニ六時早分リ
午後七時早分歸ル單独返港ヲ命シ同十時早分旅順返着直ニ
負傷者ヲ病院ニ送リ同艦ニ逮捕セシ海賊一名ハ以テ民政署ニ依
托拘禁セシム

於是小官ハ前記顯末ヲ登州船長ニ告ケ能フヘクハ旅順ニ
同行セシトシ又船長驚愕愕シ偵探隊ヲ無能ナルヲ陳謝
シ事情陳述ト海賊受領ヲ爲リ自ラ進テ旅順ニ赴カト答フ
萬事旅順返港上真相ヲ調査シ得ルヤ加故ニ茲ニ旅順返港
ニ決セカ汽船登州ノ全運約八節在カ故ニ今夜返泊ニ決ス
九月十九日

午前六時汽船登州在リ姉妹船水警部ニ砲艦共果ヲ来ル
須臾ニ多登州船長支那帆船ヲ来リ登州ハ昨夜小欽島ニ其係

海
軍

殘留者皆ヲ報ス

午前六時五十分横濱出港同七時十五分小笠島西方ニ達シ汽船登
州ト會シ同船長ヲ帰船セシメ同船セトセシカ同船員ノ報告ニ拠ル
船員ノ大部分ハ今悔ニ上陸討賊中ニシテ航海不可能ナリト云
蓋シ山上ニ銃声熾ニシテ我ヲ瞰射セル事ト認メ凡ハ該船員ト海
賊トノ應酬ニテ遠望中海賊一カヲ射殺セシ偵探隊益肉息
ルヲ認メ多ク是ニ於テ船長ニ告ケテ登州ハ單獨後ヲ旅順ニ来ル
ベキヲ以テセシ船長ハ自己ノニ錄順ニ赴キ大連ヲ經テ芝罘ニ帰ラント
答ク其旨ヲ汽船登州ニ傳ケルカ故ニ鴨ニ便乗セシヲ猶ホ昨夜速
捕セル海賊ニ名ヲ鴨ニ拘禁ニ午前十時五分旅順ニ入港ス
旅順民政署ニ委託取調ヘタル證憑書類山東沿海水警署
三砲艦大副賈承峯聽取書ヲ添付シ

右報告ス

(略)



聽取書

山東沿海水警大正砲艦大副

賈 第

山 年

右者松尾清太郎カ廟島列島附近ニ於テ銃創ヲ蒙
リ名付ニ付キ大陣起ラシキリ

一、自今ハ煙草水上警備船ニ乗組テ居ル者ヲ
アリクニ海警ハ警備船トアリクニ共其船ノ標艦ハ
銃ヲ持テ身命ハ失張水上警備船所屬ノモノ
アリクニ

一、私等船業組ノ船水者十四名アリテ今回ハ廟島列
島附近ニ匪賊ノ徒カ出沒スル事ヲ得聞トシテ

海 軍

隊長指揮下ニ本日十五日煙台出發同十七日大欽
島に着シマシ

一、上長官總ヲ怪テ認ル船ニ對テ遠慮ヲ要ス

銃聲ヲ打拂トテ命令家ヲ折リテ十七日ノ

日ハ彼レ是レ幸甚ノ我直船其他ニ非テ銃聲ヲ致シ

テ多ク十七日海中ニ三四隻ノ船ヲ追跡射撃ラシマシ

一、銃聲ト申シテ空砲モアリ亦海軍ヲ示リマシ

一、如月十七日梅ノ月ハリマシ共波カ高クテ確ト相

争方、船ヲ看取ルテトハ出来ナシテアリマシ併シ日

如ノ漁船ニ非シテ海軍ノ船トシテ之ヲ經テ曰クノ漁夫

カ銃劍ヲ圖ラトテテ探ナコトハ少シ知リマシ

一、又曰本ノ漢船横はニ糸ヲテ揚ナドモ記憶シマセシ
 又私考ノ船當カ日本ノ漢船ニ對シテ實ク是トテ揚
 ナドモ言フ事トモ知リマセシ
 一、只當板前申ス通リ大飲場は近ニ三三四隻ノ船ニ
 對テ是ト揚ナドモ為テ小鏡ヲ敷射テ是トアリマ
 或ハ其由ニ曰本ノ漢船カ左ツカモ知シマセシ
 若シ曰本ノ漢船カ夫レカ為テ負傷シタトシマセシ
 意外ノ不幸アリマシト論故意ニ斯ノ行為ヲ
 シタノ事アリマセシ
 一、右中話シテ通リノ行動ヲ取テ是レ由ニ昨日即チ十
 一日ニ貴國水雷艇カ四隻見エシカ其時ハ下

証
 証

1401 1400

度匪賊徒ヲ取圍ニ先ク以テ更ニ一隻ヲ來援ヲ待
テ共ニ勦討セテ元際アリマカク貴國水雷
艇ニ懇請シテ援助ヲ受テ討伐ニ克テ果貴國
水雷艇ハ匪賊ノ由ニ名ヲ取押シテ船艙ニ入其
ノテ私ハ其印換授爲其犯人ノ印引渡ラシメ
度思ヒマシク水雷艇ニ便條ニテ其地ニ参リマシ
印アリマシ

右讀用ニタルニ相違ナキ旨申立ル元無印ニ付署
名印也云

大正四年九月五日

申立人 齋藤 山翁

旅旅昭民政署

警視

東畑英夫

警部

石川

一清

通譯

小川

清

通譯世禰

細

玉杉

立舎人

海軍大尉

大久保義雄

別紙第六

都督より芝罘領事宛テタル電報(九月五日午後五十分發)

十七日、夜日本漢船廟島列島沖合ニ於テ支那巡邏船
ラシキモノ、爲ニ射撃セシ糸組ノ漢夫一名重傷セル報告
ニ接ニ取調、爲十八日海軍ヨリ水雷艇四隻ヲ派遣シタル
處大欽島ニ烟台水警廳ノ汽船登州號及兵士ヲ載
セタル民船二隻假泊ニ居ルヲ發見ニ間糺シタル處同島
ニ海賊四十余名逃亡ニ居ルヲ以テ討伐ニ從事中ナルヲ以テ
援助ヲ得度懇請セルニヨリ水雷艇隊ハ其ノ請ヲ答レ彼
等ヲ援助ニ陸戰隊ヲ上陸セシメ少將交戦、後賊三名ヲ
逮捕セリ其際一等下士一名重傷ヲ負ヒ後死セリ水
雷艇ハ参考ノ爲支那汽船登州號ノ船長ヲ旅順ニ同
船ヲ求メ偵問ノ結果十七日夜ハ警戒ノ爲同島ノ周

同ヲ徹底巡邏シタルカ其際本邦漁船ト知ラスエテ發砲
シタルモノ如ク依テ三名ノ海賊ハ貴館ニ護送スキニ付
貴官ヨリ支那側ニ引渡アリ度ク同時ニ右船長ヲ同行
セシム。支那側ヨリ死亡下士ニ對シテハ弔慰金ヲ又負傷漁
夫ニ付テハ慰藉金ヲ並ニ犯人ヲ護送費用ヲ出サシムル様
希望ス。海賊護送ノ旨取ハ決定次第電報ス。委細郵
報

海

報

1406

別紙第七

都督より外務大臣宛テ電報
芝罘領事ト左ノ通ク電報ス(以下別紙第六全通)